

3.3.2 中部地方支部による日本水道協会の支援内容

被災状況の情報収集等のため、被災当日、名古屋市の職員3名を先遣隊として派遣した。地方支部内からの広域的な応援状況は以下のとおり。

- ①「日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定」に基づき、石川県支部の応援要請を受けて、地方支部内の富山県、福井県、新潟県及び愛知県の4県支部に応援要請を行った。
- ②被災都市には、富山市、高岡市、射水市、福井市、長岡市、名古屋市の水道事業者が、被災から4月9日まで、給水タンク車11台により応急給水活動を実施した。

3.3.3 石川県支部による日本水道協会の支援内容

(1) 石川県支部としての活動

金沢市は、地震が発生した3月25日（日）から4月9日（月）にかけて、石川県支部長都市として、石川県の協力のもと、県内水道事業者、中部地方支部及び日本水道協会本部との連絡調整を行うとともに、被災事業者（輪島市、七尾市、志賀町及び穴水町）からの要請に基づき、応急給水・復旧活動などの応援受け入れ体制の支援等を行った。

なお、石川県支部からは、金沢市のほか、小松市、白山市、能美市、加賀市、かほく市、珠洲市、野々市町、津幡町、内灘町が支援活動を行った。

(2) 七尾市、志賀町、穴水町への支援

- ①応急給水活動
- ②水道管の材料支給

(3) 輪島市への支援

- ①応急給水・復旧活動
- ②給水袋と水道管の材料支給
- ③旧門前町水道課内に支部現地本部を設置。漏水調査・応急復旧活動の連絡調整、応急復旧計画の作成と実施。
- ④応急給水活動は門前支所対策本部の指示により活動。